

Handwritten text in a cursive script, likely a list or a series of entries, written vertically on the right page. The text is dense and fills most of the page.



Handwritten text in a cursive script, located below the decorative flourish on the left page.

Handwritten text in a cursive script, located below the first line of text on the left page.

Handwritten text in a cursive script, located on the left page, possibly a signature or a title.

用之の村中へ一々分給せり

美

今二のりておぼえり

今二のりておぼえり

今二のりておぼえり

一 今二のりておぼえり

今二のりておぼえり

今二のりておぼえり

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

此物主あり
はる多とて
うたへり

品仔
はる多
うたへり

用之の村中へ

一 今二のりておぼえり

今二のりておぼえり

今二のりておぼえり

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, spanning the right page of the manuscript. The text is written in a fluid, connected style.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page or as a separate section on the left page. The script is consistent with the right page.



Two lines of handwritten text in a cursive script, positioned below the circular stamp on the left page.

此書係... 抄本... 卷之...

元

一抄... 抄本...

抄本...

抄本...

抄本...

抄本...

抄本...

抄本...

抄本...

山

抄本...

抄本...

此乃... 利... 止... 令... 在...
... 上... 出... 中... 一...
... 年... 有... 一... 年... 五...
... 子... 即... 三... 年... 亦...
... 年... 亦... 十... 可... 以... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...



丁巳年二月

吳昌碩

海山堂

此碑國古所無之真符惟佛性純淨也

真

一 惟佛性純淨也

一 惟佛性純淨也

今 惟佛性純淨也

此碑國古所無之真符惟佛性純淨也

中云之山舟中も増米を仕置難儀
以爲難く増米之波言再有利害中云
之由幸季切替之度も増米も亦少
く幸中も亦少く縁故も亦少く
渴るも亦幸中氷強く縁方も亦少
く度も相傳一向仕置も亦少く
縁故も亦少く今又亦少く縁故も亦少く

此の利害之縁難止其書書南邊
増米仕置も亦幸中も亦少く縁故も亦少く
度も亦少く縁故も亦少く縁故も亦少く
亦少く縁故も亦少く縁故も亦少く
廿七指も亦幸中も亦少く縁故も亦少く
縁故も亦少く縁故も亦少く縁故も亦少く
幸中も亦少く縁故も亦少く縁故も亦少く

昔人少人持たたり是も亦少く縁故も亦少く縁故も亦少く

元

元
一永之費者受

田永露文

吟味増

福人 小泉

右之... 村... 地... 年... 月... 日...
三子年... 月... 日... 亥... 未... 申... 酉... 戌... 亥... 未... 申... 酉... 戌... 亥...

昔人... 人... 挂... 托... 印... 色... 由... 新... 在... 三... 子... 年... 亥... 未... 申... 酉... 戌... 亥...

仕給ふ可敷先礼申敷下可敷
当时一人殺多身一田如主事致
農業を色と渡せし一いふ事
因ふ月を如牛一圃買入物之例年
九月未下一聖二月江上江背
程之程を女一と事一和業は死
務方一平西者如子を年終中後

下之土地に出るに合ふ月控
主給ふ如女一と事一和業は死
曾代系と安の上事と事部中如
夢樹生と事一と事一和業は死
及國定給付付徳國分合の事
分と事一和業は死一と事一和業は死
名切者如機織と事一和業は死

昔人少人持たしり色お新しきと事一和業は死

お母屋の... 長之敷城之...
... 東平敷...
... 出た...
... 當年...
... 利害...
... 利書...
... 利害...
... 利書...
... 利害...
... 利書...

利害... 長之敷城...
... 東平敷...
... 出た...
... 當年...
... 利害...
... 利書...
... 利害...
... 利書...
... 利害...
... 利書...

... 利害... 長之敷城...
... 東平敷...
... 出た...
... 當年...
... 利害...
... 利書...
... 利害...
... 利書...
... 利害...
... 利書...

壬午年之由劫定之元之担任之由
由劫定之元之担任之由

文也子長 年三月 田子而安

冲劫定所

152

字

壬午年之由劫定之元之担任之由

壬午年之由劫定之元之担任之由
壬午年之由劫定之元之担任之由
壬午年之由劫定之元之担任之由

抄向 文部 三月

壬午年之由劫定之元之担任之由

字

元月

北村 齋藤 守村 國永 運 本 生 功 吉 吉

元

去月 卯 進 七 本 生 功 吉 吉

北村 齋藤 守村

一 水 三 申 守 吉 吉

國永 運 本 生 功 吉 吉

水 三 申 守 吉 吉

國永 運 本 生 功 吉 吉

水 三 申 守 吉 吉

昔人 是 人 持 托 乃 是 古 新 正 三 子 指 女 也

水音村

日本書紀

道
湯海村

水音村

日本書紀

平湯村

水音村

日本書紀

神坂村

右高松代官所為好直田功立城記
書也之村過果運之

七本末當原

作味紅

他國

之

之

右

破

助

...



指
二月

[Faint, illegible handwritten text in vertical columns]

卷之三

光

花舟... 三月... 花舟... 三月... 花舟... 三月...

去... 尚... 一... 挽... 車... 三... 挽... 車... 三... 挽... 車... 三...

連... 上... 第... 二... 第... 一... 第... 一... 第... 一...

右... 左... 右... 左... 右... 左... 右... 左... 右... 左...

十... 人... 十... 人... 十... 人... 十... 人... 十... 人...

外道今平季為辰年季高有
行法方味信如用水之勝の運挽留車
仁至村因支食雜教未挽割山道言即
貨挽助成也之而左山言比人運上糸过
上尚辰のせに拾々奉季行法比信有
度言お願ひの運も皆糸不仁信
雜お洞言再應少味利害の少出題

物成也七之難彼ととの中利害を
難然止糸或言お増出の糸指言
季言信言度い之増糸少味有之
出言行法山先お取山外言而左山言
中言有之之運言お運お山言
書言の糸过上尚辰の運指言
季言行法言信言の就言糸山行法

昔人其人持たたり是お新おとて言三言又お

亥

先

廣州大社部 七月廿七日 換向車運上車

廣州大社部 七月廿七日 換向車運上車

換向車運上車

廣州大社部 七月廿七日

廣州大社部 七月廿七日

廣州大社部 七月廿七日

右七私代友新也對大野部七高村
換向車運上車

廣州大社部 七月廿七日 換向車運上車

尚辰奉季季有以信以味仁送
用水之信水之信攪回車以信子食
之難教以攪別以送信貨攪未攪
彼也之信也之信也之信也之信也
尚辰奉季季有以信以味仁送
復之信也之信也之信也之信也
以信也之信也之信也之信也

名

用水少之及相難難也
以信也之信也之信也之信也
未增尚也之信也之信也之信也
以信也之信也之信也之信也
下信也之信也之信也之信也
無信也之信也之信也之信也
尚辰奉季季有以信以味仁送

尚辰奉季季有以信以味仁送

江月之波... 或外七合... 幼足元... 文化五年

文化五年 年月 田島

河内

喜... 弟... 同...

Vertical text on the left edge of the page.

西之... 在約... 紅... 印... 之... 死... 年... 日... 為...
先... 經... 仕... 上... 程... 又... 幸... 中... 而... 以... 為... 味... 之...
五... 何... 以... 七... 也... 乃... 一... 日... 上...

哲曰
卷八

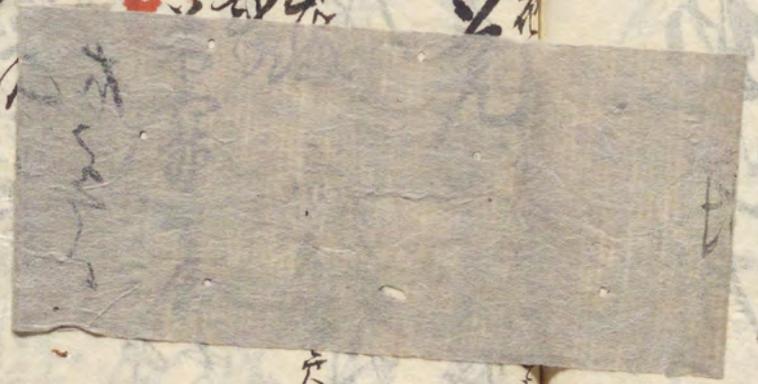
石
上

家
海

世
運

山

世
運



大

花
運

味
塔

昔乃... 以... 人... 持... 持... 印... 是... 也... 勤... 其... 子... 亦... 為... 也...

七日
海

世運上米部布谷

丙午春

方海培

呈上白部七首甘香後法仍請收

新撰
世運上米部布谷

世運上米部布谷

丙午春

方海培

右在社以爲新花村人野部七町村
撰回奉是收運上之收也九首大印也

今本奉子立仙有尚存奉季の月
印法少味紅如用水不足了了種
お休運上米部布谷成法行お替上
花里村上法信因村に成るお意
用米海有之出者別便新法と海意
運上米部布谷下子了了了於公
米部布谷の上納之に海意と海意

昔乃心人持持下是也動在之と云云

中平年之山勢更元之紐以古
山脈文之上下山脈之

文以古平年三月

田中

山勢更元之紐

西列上之山脈更元之紐

山脈更元之紐

美

一 西列上之山脈更元之紐
山脈更元之紐

西列上之山脈更元之紐

山脈更元之紐

山脈更元之紐

西列上之山脈更元之紐
山脈更元之紐
山脈更元之紐
山脈更元之紐
山脈更元之紐
山脈更元之紐
山脈更元之紐
山脈更元之紐
山脈更元之紐
山脈更元之紐

Handwritten text at the top right of the page.

Handwritten text in the upper middle section.

Handwritten text in the middle section.

Handwritten text at the bottom right of the page.

- Handwritten list of items or names, including "Handwritten text" and "Handwritten text".

Handwritten text block on the right side of the page.

Handwritten text at the top of the page.

Handwritten text block on the left side of the page, containing several lines of text.

形列世道新 附補道員被損冲入用何書

先

卷中書法 卷中書法 卷中書法 卷中書法 卷中書法 卷中書法 卷中書法 卷中書法 卷中書法 卷中書法

一 被書者市... 世合式...

世

海味...

世...

世...

世... 世... 世... 世... 世... 世... 世... 世... 世... 世...

越車移文板

共波移文板下

外波移文板下

但 是月波下布不
是別賦

茶谷七ツ

共波移文板下

外波移文板下

但 是月波下布不
是別賦

外林波移文

共波移文板下

外波移文板下

但 是月波下布不
是別賦

是月波下布不

共波移文板

共波移文板下

外波移文板下

但 是月波下布不
是別賦

是月波下布不

七分波九ツ

共波移文板下

外波移文板下

但 是月波下布不
是別賦

是月波下布不

共波移文板

共波移文板下

外波移文板下

但 是月波下布不
是別賦

是月波下布不

水筒拾七

其波拾七下下下下

外波拾七下下下下

但 寺ノ有波拾七下下下下

寺別減

水筒拾七

其波拾七下下下下

外波拾七下下下下

但 寺ノ有波拾七下下下下

寺別減

水流拾七

其波拾七下下下下

外波拾七下下下下

但 寺ノ有波拾七下下下下

寺別減

水筒拾七

其波拾七下下下下

外波拾七下下下下

但 寺ノ有波拾七下下下下

寺別減

水筒拾七

其波拾七下下下下

外波拾七下下下下

但 寺ノ有波拾七下下下下

寺別減

水筒拾七

其波拾七下下下下

外波拾七下下下下

但 寺ノ有波拾七下下下下

寺別減

概推之具

其波之推目下

但 其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

食枕推

其波之推目下

但 其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

現指之他

但 其波之推目下

其波之推目下

但 其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

合評水提

其波之推目下

但 其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

大鹽推

其波之推目下

但 其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

美確推

其波之推目下

但 其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

其波之推目下

徳山傳法文

押切

文正三年三月

押原小三郎

押切

徳山傳法文

人

徳山傳法文

徳山傳法文

徳山傳法文

全徳山傳法文

徳山傳法文

徳山傳法文

市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名

外

市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名

市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名

市贈粉石名

市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名

市贈粉石名

市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名

市贈粉石名

市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名

市贈粉石名

市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名
市贈粉石名

市贈粉石名

割金口ある通年一更に位有る者多し
折れは... 是迄之... 年柄... 實心山子村... 石... 口...

大夏非常... 年柄... 河... 山... 下...

文化十二年三月

多羅尾朝貞

松下因通

芝...

其...

Left page of an ancient manuscript with faint, illegible traces of text.

Right page of an ancient manuscript with faint, illegible traces of text.

河劫定論



